保育園は乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。登園に際しては、以下の配慮をお願いします。

- 1、園内での感染症の集団発症や流行につながらないこと
- 2、子どもの健康（身体）状態が保育園での集団生活に適応できる状態に回復していること

I 医師が記入した登園許可証が必要な感染症

病名	潜伏期間	感染可能期間	主な症状	登園基準
はしか（麻しん）	8～12日	発熱1～2日前から発疹出現後4日間	上気道のカタル、発熱、粘膜疹コプリック斑	解熱した後3日を経過するまで
インフルエンザ	1～4日	感染後約10日間	発熱、全身倦怠、筋肉痛、鼻カタル、咽頭痛、咳	発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後3日を経過するまで
新型コロナウイルス感染症	約5日 最長14日		無症状、発熱、呼吸器症状、頭痛、倦怠感、消火器症状、鼻汁、味覚異常、嗅覚異常	発症した後5日を経過し、かつ、症状が軽快した後1日を経過するまで
三日はしか（風しん）	16～18日	発疹出現の前後7日間	発熱、発疹、リンパ節腫脹	発疹が消失するまで
水ぼうそう（水痘）	14～16日	発疹出現2日前～発疹が痂皮化するまで	発疹、軽熱	すべての発疹が痂皮化するまで
おたふくかぜ（流行性耳下腺炎）	16～18日	耳下腺腫脹7日～腫脹後9日	発熱、唾液腺（耳下腺、顎下腺等）の腫脹および圧痛	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現してから5日経過するまで
結核	3か月～ 数10年		慢性的な発熱（微熱）、咳、疲れやすさ、食欲不振等	医師より感染の恐れがないと認められていること
咽頭結膜熱（プール熱）	2～14日	潜伏期後半～発症後5日間	発熱、全身症状、咽頭炎と結膜炎の合併症	解熱し、主要症状がなくなった後2日経過するまで
流行性角結膜炎（はやり目）	2～14日	発症後2週間	結膜の充血、目やに、耳前リンパ節の腫脹	治癒するまで
百日咳	7～10日	感染後約3週間	発作性咳の長期反復、持続	特有の咳が消失するまで
腸管出血性大腸菌感染症（O157、O26、O111等）	3～4日	便中に菌が排泄されている期間	下痢、発熱	症状が治まり、かつ、抗菌薬の治療が終了し48時間あけて連続2回の検便によっていずれも菌陰性が確認されてから
急性出血性結膜炎	1～3日	発症後2週間	結膜の充血、目やに	治癒するまで
侵襲性髄膜炎菌感染症（髄膜炎菌性髄膜炎）	1～4日		発熱、頭痛、嘔吐 急速に重症化する可能性がある	医師より感染の恐れがないと認められていること
带状疱疹（ヘルペス）	不定	発疹が痂皮化するまで	水泡、痛み	すべての発疹が痂皮化するまで

II 医師の治療・診断を受け、保護者が登園届を記入、提出が必要な感染症

病名	潜伏期間	感染可能期間	主な症状	登園基準
溶連菌感染症	2～5日	抗菌薬内服後24時間	発熱、咽頭痛、嘔吐、扁桃腺炎、莓舌、全身発疹	抗菌薬内服後24～48時間を経過してから
マイコプラズマ肺炎	2～3週間	発症時～4～6週間	咳、発熱、頭痛、呼吸困難	症状が改善し、全身状態がよくなってから
手足口病	3～6日	唾液は1週間糞便は数週間	手足口に水疱性の発疹、感冒様症状	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響が無く普段の食事がとれる
りんご病（伝染性紅斑）	4～14日	発疹出現前の1週間	感冒症状後、両側の頬が赤くなったり、手足にレース状、網目状の紅斑出現	全身状態が良ければ登園可能
ウイルス性胃腸炎（ロタ・ノロウイルス・アデノウイルス等）	ロタ1～3日 ノロ12～48時間	症状がある期間	吐き気、嘔吐、下痢、発熱	嘔吐、下痢の症状が治まり、普段の食事がとれること
ヘルパンギーナ	3～6日	急性期の数日間	発熱、咽頭痛	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれる
RSウイルス	4～6日	3日～8日	発熱、鼻汁、咳、喘鳴	呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと
带状疱疹	不定	水泡が形成している間		すべての発疹が痂皮（かさぶた）化していること
突発性発疹	約10日	発熱中	高熱、3日後に全身発疹	解熱後1日以上経過し全身状態が良好